

この報道資料は 2005 年 6 月 15 日にドイツで発表されたプレスリリースの翻訳です

2005年6月 20 日

BASF、欧州での可塑剤事業体制を再編

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は 2005 年第 3・四半期中に、欧州のジエチルヘキシルフタレート(DEHP)とその関連アルコール、2 エチルヘキサノール(2-EH)の生産を終了します。本社のルートヴィヒスハーフェンにある 2-EH プラント(年産 20 万トン)は停止し、2005 年 10 月に解体します。

ベルギーのフェルイ拠点にあるいくつかの生産施設についても、無水フタル酸や可塑剤、フマル酸、ブタンジオール誘導体の製造では競争力を維持できないと判断したため、同時期に停止します。フェルイにおける無水マレイン酸の製造は継続します。こうした動きの背景には、欧州市場の停滞、世界的な設備過剰、フェルイ拠点のコスト構造が好ましくないことが挙げられます。

画期的なソリューションを模索する可塑剤業界

欧州の生産業者や顧客企業は、可塑剤として、DEHP から他の製品、特に C₉ フタレートや C₁₀ フタレートに移行しつつあります。この結果、DEHP 市場は、2000 年対比で 50%も縮小しました。

こうした変化を受け、BASF でも、画期的な可塑剤を販売しています。一般的な用途には、Palatinol® N(DINP)および、BASF のみが提供する C₁₀ 可塑剤、Palatinol® 10P(DPHP)です。玩具や医療機器、食品と接触するものなどのデリケートな用途向けには、Hexamoll® DINCH という、人体との接触が多い用途向けに開発された画期的な特殊可塑剤も取り扱っています。

欧州における今回の事業再編は、NAFTA やアジア地域での BASF 可塑剤事業の展開に影響を及ぼすことは一切なく、両地域では今後も、2-EH と DEHP の提供を継続します。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASF の製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農業、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーカンパニーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASF では、新技術の開発とそれらを使用することで、新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功と環境保護、社会への責任を融合させることでより良い未来に貢献しています。2004 年度は約 8 万 2,000 人の従業員を雇用し、370 億ユーロ以上の売上高を計上しました。BASF の株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、パリ(BA)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは www.basf.com です。BASF ジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスは www.basf-japan.co.jp です。

■本件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ 山田
Tel. 03-3238-2341

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町 3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL:<http://www.basf-japan.co.jp>